

2018年11月8日

岐阜県知事・古田肇様

全国知事会による「米軍基地負担に関する提言」の 実現を強く希望します

岐阜総がかり行動実行委員会
代表 河合良房（弁護士）

私たちは、平和や人権、くらしが守られるように切望し、行動している市民団体ですが、今般、全国知事会が「米軍基地負担に関する提言」を全会一致で採択し、日米両政府に出されたことを、大変心強く感じています。

この度の沖縄県知事選での「基地はいらぬ」とする沖縄県民の強固な願いが明らかとなりました。また、危険なオスプレイが横田基地にも常備状態となって東京上空を我が物顔に飛び回る事態になってもほとんど異議を挟めない日本政府に、「どうなっているんだ」という国民感情の高まりがあります。

日本以外の国にも米軍基地があり、その国々との地位協定が存在していますが、日本との協定が際立って酷いレベルにあることはご存知のことと思います。

私たち岐阜県民はまた、独自の思いを抱えています。かつて各務原市に「キャンプ岐阜」があり、海兵隊が常駐していた歴史があります。殺人や婦女暴行、盗難など犯罪の数々に怒った地元住民が反対運動に立ち上がり、日米両政府は第3海兵師団（山梨を含めて1万数千人）を1956年、沖縄に移駐させました。

この屈辱的な米軍基地被害を受けた経験を持つこと、そしてその実態を結果的に沖縄に“押しつけ、てしまったことに思いをいたし、沖縄及び国内基地の縮小を切に願ってやみません。

岐阜県知事の古田様も、きっと私たちと同じ思いをいただいております。

私たちは、この「提言」が実現されることを強く願っています。日米両政府、とりわけ日本政府において、真剣に取りあげられるよう、全国知事会が全力をあげて働きかけて下さる事を心から期待しています。

岐阜県知事におかれましては、全国知事会の席上で、上述のような岐阜県民の思いを踏まえ、積極的なご発言をされること心よりお願い申し上げます。

以上

2018年11月5日

全国知事会会長・上田清司（埼玉県知事）様

全国知事会による「米軍基地負担に関する提言」の 実現を強く希望します

岐阜総がかり行動実行委員会
代表 河合良房（弁護士）

私たちは、岐阜県において、平和や人権、くらしが守られるように切望し、行動している市民団体ですが、今般、全国知事会が「米軍基地負担に関する提言」を全会一致で採択し、日米両政府に出されたことを、大変心強く感じています。

この度の沖縄県知事選での「基地はいらない」とする沖縄県民の強固な願いが明らかとなりました。また、危険なオスプレイが横田基地にも常備状態となって東京上空を我が物顔に飛び回る事態になってもほとんど異議を挟めない日本政府に、「どうなっているんだ」という国民感情の高まりがあります。

日本以外の国にも米軍基地があり、その国々との地位協定が存在していますが、日本との協定が際立って酷いレベルにあることはご存知のことと思います。

例えば、ドイツやイタリアでは米軍犯罪を裁くような自治権を持っています。アメリカによる治外法権状態を認める日本は最悪です。

そうした実態を2年にわたって調査され、提案の実施に踏み切られたことに敬意を表します。

私たち岐阜県民はまた、独自の思いを抱いています。かつて各務原市に「キャンプ岐阜」があり、海兵隊が常駐していた歴史があります。殺人や婦女暴行、盗難など犯罪の数々に怒った地元住民が反対運動に立ち上がり、日米両政府は第3海兵師団（山梨を含めて1万数千人）を1956年、沖縄に移駐させました。

この屈辱的な米軍基地被害を受けた経験を持つこと、そしてその実態を結果的に沖縄に“押しつけ、てしまったことに思いをいたし、沖縄及び国内基地の縮小を切に願ってやみません。

私たちは、この「提言」が実現されることを強く願っています。日米両政府、とりわけ日本政府において、真剣に取りあげられるよう、全国知事会が全力をあげて働きかけて下さる事を心から期待しています。ご尽力のほど、よろしくお願い申し上げます。

以上